

(令和6年9月26日発表)

市長表敬訪問（静岡市出身の映画監督 山本 起也氏）

◆アピールポイント	●静岡市出身の映画監督「山本^{たつや}起也氏」（京都芸術大学 教授）が、令和7年1月末から2月中旬にかけて、清水区を主な舞台にした映画の撮影を予定しています（劇場公開は令和8年夏を予定）。 ●今回の作品は、映画のプロフェッショナルと学生が、映画の準備・撮影から公開までを共同で行うプロジェクト「北白川派」の一つとして立ち上げ、ロケーションハンティング（撮影地の下見など）には、市内大学生や市民の方にご参画いただき、撮影の準備を進めてきました。 ●今回、撮影の開始に向けた、本格的な準備開始に伴い、山本監督と、制作に携わる大学生や市民の代表者（4名）が、映画制作に向けた地域への思いや意気込みを市長に伝えます。 【市長の出席 有】
◆日時	令和6年10月1日（火）14:15～14:35
◆場所	静岡市役所新館8階 市長応接室
◆内容など	●山本 起也監督 プロフィール ・静岡市出身。静岡高校卒業。京都芸術大学 映画学科教授。 ・2006年、静岡市葵区を舞台に90歳になる祖母の「長年住んだ家の取り壊し」を題材とした監督作品「ツヒノスミカ」を撮影し、スペインの映画祭「PUNTO DE VISTA」監督賞を受賞。 ・京都芸術大学は、映画のプロフェッショナルと学生が共同で映画を制作する「北白川派」という映画プロジェクトを進めています。 ・前作となる「のさりの島」（2020年）では、熊本県天草市をロケ地に、地域と一体となった映画制作を行いました。 ●参加者 - 山本監督、制作に参加する大学生と一般の方の代表者（4名） ●当日の流れ ・山本監督挨拶・映画プロジェクト概要説明 ・学生・市民代表からの抱負 ・市長から応援のコメント

別紙資料

無

取材をぜひよろしくお願いいたします！

【問合せ】 広報課（静岡庁舎8階）

担当 近藤、堀池

電話 054-221-1219